

## 第2学年国語科学習指導案

日時 平成24年11月1日(木) 5校時  
児童 2年4組 男18名 女10名 計28名  
指導者 重 香

### 研究課題

順序性を表す言葉や考えの根拠になる言葉を見付けながら文章を読もうとする子どもの育成  
課題設定の理由

本学級の児童は、学習に意欲的である。定着後の実態としては教科書で学習した内容であれば、ワークテストで80点～100点をとれるのだが、実力テストになると問題文の読み取りで苦戦している児童が約半数いることから、確かな読み取りの力が不足していると思われる。範読や一斉読を頼りに読み取りをしている子、挿絵のみで話をつないでいる子など、文字言語ではない情報を中心に読み取る子も少なくない。児童の課題として、言葉の意味や使い方を知らない。文のまとまりやつながりをとらえることができないことが考えられる。そこで、文章のまとまりや言葉を考えながら学習し、事柄の順序を考えながら内容の大体を読む力をつけていく学習を1年間の柱にしたいと考え、本研究の課題を設定した。

### 1 単元名 読んで考えたことを書こう

教材名 「どうぶつ園のじゅうい」(うえだ みや)(光村図書 2年上)

### 2 単元について

#### (1) 児童観

これまでに児童は、説明文の学習において、「たんぼぼのちえ」では、時間の順序や「～からです」という理由を表す言葉に着目して読むことを学んだ。そして、心に残った「ちえ」について自分の考えを書く学習をした。「しかけカードの作り方」では、「手順」を表す言葉に気を付けて読み、しかけカードを実際に作る学習をしてきた。文章を読んで感想を書くことについては、「ふきのとう」「スイミー」「黄色いバケツ」等で経験しているが、説明文を読んで感想を書くことは経験していない。

読むことや書くことの速さや正確さに個人差が大きく、自分の思っていることを正しく書き表すことが十分とは言えない児童もいる。また、読書の状況も個人差が大きく、物語を読むことが好きな児童もいるが、図鑑や挿絵の多い絵本に偏る児童、声をかけたときのみ本に向かう児童も数名いる。

本単元を通して、事柄の順序をおさえながら内容を読み取り、自分の経験と合わせて感想を伝えることができるようにしていきたいと考える。

#### (2) 教材観

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の内容にある「イ 時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を読むこと。」と「オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」である。

本教材「どうぶつ園のじゅうい」は、児童にとっても興味のある獣医の仕事内容が、理解しやすい「わたし」という視点で語られており、児童が読みやすい文章となっている。文章は、説明文の典型である「はじめ—中—終わり」の三つのまとまりで構成され、事柄の順序にしたがって文章が分かりやすく展開されている。また、児童の好きな動物園の略図、動物たちの写真、絵が随所に挿絵として登場するので、興味をもって読み進めていくことができると思われる。

### (3) 指導観

本単元では、時間的な順序や事柄の順序を考えながら獣医の仕事やそのわけを読み、自分の経験と結び付けて感想を書くという言語活動を行う。

第一次では、「どうぶつ園のじゅういを読んで、感想を書こう」という、学習のめあてや学習計画について確認する。

第二次では、「どうぶつ園のじゅうい」を段落ごとに分け、獣医の仕事の順序に気を付けながら詳しく読んでいく。「いつ」「だれが」「どんなどうぶつに」「どんなことをしたのか」に気を付けて読み取り、「どうしてそうしたのか」というわけについても読み取っていく。

第三次では、「どうぶつ園のじゅうい」を読んだ感想を書く。その際、自分が知っていることや自分の経験と結び付けながら感想を書くようにする。その後、「どうぶつ園のじゅうい」で学んだ文章の構成や事柄の順序を生かして書く活動を行いたい。

## 3 学習指導目標

### (1) 国語への関心・意欲・態度

○書かれている内容と自分の知っていることとを結び付けて説明文を読もうとする。

### (2) 読む能力

◎時間的な順序や事柄の順序を考えながら獣医の仕事やそのわけを読み取ることができる。(読イ)

◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、自分の経験と結び付けて、感想を伝えることができる。

(読オ)

### (3) 書く能力

○条件に沿って経験したことを基に書くことを決め、簡単な構成の文章を書くことができる。

(書イ)

### (4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○条件に沿って経験したことをもとに書くことを決め、簡単な構成の文章を書くことができる。

(伝国イ)

## 4 指導計画

(「読むこと」9時間 「書くこと」3時間)

次	時	学習内容
一	1	・獣医の仕事について予想し、範読を聞いて初発の感想を書くこと。 ・単元を通して読み取った内容について感想を書くことを知ること。
	2	・段落分けをしながら内容の大体を読み、学習計画を立てること。
二	3	・朝の仕事と動物園を見回るわけを考えること。
	4	・いのししに関する仕事を読み取ること。
	5(本時)	・にほんざるに関する仕事を読み取ること。
	6	・ペンギンに関する仕事を読み取ること。
	7	・「一日のおわり」についての事柄を読み取ること。
	8	・「どうぶつ園のじゅうい」を読んで、感想を書くこと。
	9	・感想を交流し、考えを伝え合うこと。
三	10	・自分の係の仕事について、家の人に伝えることを知ること。 ・教科書の作例から書き方を知ること。
	11	・「書くことカード」を作り、学習を振り返ること。
	12	

5 本時の指導

(1) 目標

にほんざるに対する獣医の仕事を順序に気を付けて読み取り，感想をまとめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	<p>1 前時の学習内容を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>じゅういさんのしごとを読みとり、かんそうを書こう。</p> </div> <p>3 解決の見通しをもつ。</p>	<p>・前時のいのししに対する獣医の仕事内容を確認し，本時の学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>・仕事を読むときには，「いつ」「どんな動物に」「何をしたか」に気を付けることを確認する。</p>
展開 35分	<p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) ・学習場面を音読し，「いつ」，「どんな動物が」，「どんな様子か」印をつける。(一人学び・全体学び)</p> <p>(2) 獣医がにほんざるにした仕事を確認し，薬をどんな方法で飲ませたのか，分かるところに線を引き発表する。(一人学び・ペア学び)</p> <p>5 読み取ったことをノートにまとめる。</p> <p>6 獣医の仕事の価値を感じ取る。</p> <p>7 にほんざるへの仕事を読んでの感想を書く。</p>	<p>・4段落を一人読みさせて，大まかな内容を捉えられるようにする。</p> <p>・飼育委員が困っていることを確認する。</p> <p>・にほんざるが薬を飲まないと，けがが治らず命に関わることに気付かせる。</p> <p>・獣医の行動に，サイドラインを引かせる。</p> <p>・獣医はどんな方法で薬を飲ませようとしたのか，確認する。</p> <p>① えさの中に入れる。</p> <p>② じょうざいをくわいてこなにし，バナナの間にはさんでわたす。</p> <p>③ こなをはちみつにまぜる。</p> <p>・③の方法がうまくいった理由を考えさせる。</p> <p>・にほんざるに対する獣医の仕事を振り返り，すごいなと思うところを見付けさせる。</p> <p>・読み取ったことを基にして，感想が書けるようにする。</p> <p>◇にほんざるに対する獣医の仕事を順序に気を付けて読み取り，感想を書くことができたか。(ノート・発言)</p>
終結 5分	<p>8 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>9 次時の学習を確認する。</p>	<p>・「いつ」「どんな動物に」「何をしたか」に気を付けて読むことと，獣医の仕事や感心したことを基にして感想を書いたことを確認する。</p> <p>・ノートにまとめることができたことを認め，次時への意欲付けを図る。</p>